

下鴨中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

下鴨中学校ブロック9年間の教育目標

『自他を認め、未来を切り拓いていこうとする子』

～9年間で目指す子ども像～

自ら進んで
学ぶ子

自分も友達も
大切にする子

粘り強く
頑張る子

心も体も
元気な子

協働する
学び

自己指導能力を高め
規範意識を育成する

具体的な取組

各教科

- ・課題の把握と共有
- ・学力実態分析と共有
- ・言語活動の充実
- ・指導と評価の一体化

小中合同研修会

- ・夏季合同研修会
- ・授業参観
- ・研究発表参加

交流体験活動

- ・体験入学、部活動見学
- ・部活動交流
- ・生徒会、児童会の共同行事

情報交換

- ・学級編成資料の作成
- ・小中連絡会
- ・個別指導計画の活用
- ・保護者、地域の情報の共有

下鴨中学校ブロック
小中一貫教育各部会

四校管理職（四校教頭会）

小中連携主任会（四校教務主任会）

生徒指導部会

生徒指導主任

- ・「規範意識や社会性を付けるため、約束やルール、規律などを確実に身につけさせる」
- ・SNS等による問題行動、いじめ、不登校、保護者対応等の情報共有と対応の検討
- ・家庭背景等様々な問題をもった生徒を、関係機関とも連携し、多方面から支援していく

学習指導部会

研究主任

- 「『自ら学ぶ力』を意識した授業改善」
- ・主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める。（ICT機器の有効活用・学習の振り返り→PDCA）
- ・教科横断的な視点を踏まえた習得・活用・探究という学びの充実
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実する。
- ・学習したことの価値や意義を自ら確認できる授業を展開し、意欲的な学びを引き出す。

人権教育部会

人権教育主任

- 「自他を認めるための実生活につながる指導内容や支援の工夫」
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・指導案の交流
- ・人権学習の参観
- ・人権学習、人権教育における小中共通の課題について検討し、目標等を設定する。
- ・道徳教育を通じた自己肯定感の育成

総合育成支援教育部会

総合育成支援教育主任

- 「課題解決に向けた指導や支援の工夫」
- ・LD等発達障害の児童生徒の現状分析と問題点を共有し、適切な支援のあり方を探る。
- ・中1に入学してくる生徒の具体的な引継ぎを密にする。

養護教育部会

養護教諭・職員

- 「命を慈しみ、心身の健康に向け、自ら考え実践できる子どもの育成」
- ・9年間を見通した、生活習慣と心身の健康に関する保健指導の充実を図る。
- ・メンタルヘルス教育の充実を図る。
- ・小中間の密な連携を図り、家庭背景も含めた支援や関わりにつなげられるようにする。

事務部会

事務職員

- 「連携校の課題の解決や教育活動の活性化につながる取組を行う」
- ・ブロック会議の充実を図る。